

# 2010年度の主な活動実績と2011年度行動計画

TDKグループは、社会から信頼され続ける企業になるため、「CSR観点での重要な活動項目」を定め、年度計画にも盛り込んで、事業活動を通じたCSRへの取り組みを進めています。ここでは「CSR観点での重要な活動項目」についての、2010年度の主な活動実績と2011年度の行動計画を紹介。それぞれの活動項目について、PDCAサイクルを回すことにより、より高いレベルの活動となるよう取り組んでいきます。

項目	2010年度行動計画	2010年度活動実績	2011年度行動計画	
1 社会課題の解決に貢献する技術イノベーションと感動品質の製品づくり	環境配慮型製品の創出推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良環境製品 (ECO LOVE 製品) の情報開示と拡販 販売比率: 15%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良環境製品 (ECO LOVE 製品) をホームページにて更新実施 販売比率: 約23%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良環境製品 (ECO LOVE 製品) の情報開示と拡販 販売比率: 30%以上</li> </ul>
	モノづくり改革を推進する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モノづくり伝承塾開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モノづくり伝承塾実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モノづくり伝承塾の継続</li> <li>■ 海外展開</li> </ul>
	グローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 異文化コミュニケーション研修、IMD研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 異文化コミュニケーション研修、IMD研修実施</li> <li>■ 海外トレーニング制度の新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 異文化コミュニケーション研修、IMD研修継続</li> <li>■ 海外トレーニング制度の定着</li> <li>■ 語学教育強化</li> </ul>
	ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社内啓発の実施</li> <li>■ 各部門におけるアクションプランの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 女性従業員活躍に向けた社内啓発実施 (女性管理職座談会、外部講師による講演実施)</li> <li>■ 各部門におけるアクションプランの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各部門におけるアクションプランの実施継続</li> <li>■ 管理職教育の強化</li> <li>■ 女性従業員教育の強化</li> </ul>
2 人材の育成	CSRの社内啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ e-ラーニング導入 (日本)、導入準備完了 (中国)</li> <li>■ 集合教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ e-ラーニング実施開始 (日本)、導入準備完了 (中国)</li> <li>■ 集合教育の実施 (日本、中国、韓国)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ e-ラーニング実施継続 (日本)、導入地区拡大</li> <li>■ 集合教育の実施継続と拡大</li> </ul>
	CSR調達の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お取引先様に対してのCSRチェックシート改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お取引先様に対してのCSRチェックシート改定実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お取引先様に対してのCSRチェックシート定期改定、指導</li> </ul>
	紛争鉱物 (コンフリクトミネラルズ) 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お客様からの問い合わせ・調査依頼への適宜な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 米国金融規制改革法案成立に伴うお客様からの紛争鉱物についての問い合わせと調査依頼に適宜に対応 ・ お客様への回答体制の整備 ・ お取引先様への調査実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 紛争鉱物に関する法令・規則についての情報収集と動向の把握</li> <li>■ お客様およびお取引先様への適宜な対応</li> </ul>
3 CSR観点でのサプライチェーン・マネジメント	お客様へのCSR対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施</li> <li>■ お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施</li> <li>■ お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施と継続的な管理レベル向上を推進</li> <li>■ お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応</li> </ul>
	環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「TDK環境活動2015」に基づく環境活動推進 ・ 温暖化対策 ・ 排出物対策 ・ 環境リスク管理 ・ 対外環境活動 ・ 環境配慮型製品の創出推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「TDK環境活動2015」に基づく環境活動実施</li> <li>■ 新中長期行動計画「TDK環境活動2020」策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「TDK環境活動2020」に基づく環境活動推進</li> </ul>
4 地球環境との共生				

## 2010年度トピックス

### 1 社会課題の解決に貢献する技術イノベーションと感動品質の製品づくり

TDKは、「通信」「自動車」「環境・エネルギー」という「3つの注力市場」に技術資源を集中し、効率的な研究開発を推進。基礎研究から製品化への応用開発まで、オリジナリティーのある技術・製品の研究開発に取り組んでいます。次世代積層セラミックチップコンデンサやHEV/EV用デバイスの開発などがあり、これらの製品開発を通じて、社会課題の解決に貢献したいと考えています。特に環境面においては、優良環境製品「ECO LOVE製品」の販売比率を拡大していきます。



「ECO LOVE製品」とは、環境配慮型製品の中でも環境負荷低減効果が高く、業界においても他をリードする製品。さらに効果が高く業界トップレベルの製品を「SUPER ECO LOVE製品」と認定しています。

\*当社の環境配慮型製品は、ホームページで公開しています。  
<http://www.tdk.co.jp/ecolove/index.htm>

### 3 CSR観点でのサプライチェーン・マネジメント

部品メーカーとしてCSR調達を推進するため、EICC\*とJEITA\*のCSRガイドラインに準拠した「TDK CSRセルフチェック」をTDKグループの主要な生産拠点で実施しています。

お取引先様に対しては、従来から「サプライヤー・パートナーシップ・システム」を使って、CSRチェックシートへの回答をお願いし、現状を把握するとともに、さらなる活動の充実を図るためCSRチェックシートの改定も実施しています。

\* EICC : 2004年にアメリカを中心に制定された電子業界行動規範。  
\* JEITA : 一般社団法人電子情報技術産業協会。  
2006年にサプライチェーンCSR推進ガイドブックを策定。

### 2 人材の育成

当社の人材育成目標である、「自律型人材」の育成を強化するため、さまざまな能力開発・育成プログラムを実施しています。ダイバーシティ推進活動の一環として、経営層を対象に女性活躍推進への理解促進を図るため、外部講師を招いて女性従業員の活躍をテーマとした講演会を開催しました。また、一人ひとりの従業員がCSRを主体的にとらえ、日々業務の中で実践していくことを目的に、階層別研修や集合教育、e-ラーニングを通じたCSRの社内啓発を実施しました。



外部講師による「女性従業員の活躍」についての講演



IMD (International Management Development seminar) 研修

### 4 地球環境との共生

当社では、TDKグループ全体の環境方針として、「TDK環境憲章」を制定し、持続可能な発展に寄与することを目指しています。2010年度は、具体的な活動の基本計画である「TDK環境活動2015」に基づき、具体的な活動項目5つを設定し、主に海外工場でのエネルギー管理の強化などに取り組みました。

2011年度には、製品による環境貢献を前面に打ち出した「TDK環境活動2020」を新たに策定し、4月より活動を開始しています。